

境界を越えて風を共有するためのシェアハウスー



Roof Height
風下に負担をつくり、
上中に置れる風通りの
大きい部屋を導くため、
風下に降かって上がる勾配。

Triangle Slab Section
風の出る向きを導くことで、
室内の風通しを促めるとともに
対流を起こさないような断面。

Roofing
風上の風を受け止め、
正圧をつくり、
風下の圧力を大きくする断面。

Louver against Rain
風を効率的に取り入れながら、
雨季のスコールを入れないための
角度のルーバー。

Wind Catcher
風の入り口を大きくするため
0.1mほどの隙間に設置をり、
また床下の風通りを確保し、
屋外の雨溜りを防ぐ断面。

BED ROOM

BED ROOM / LIVINGROOM2

LIVING / DINING / KITCHEN

Section S=1/50

Outside Dining
屋外約150㎡のテラス
※風の強いエリアが
あり

Various Wind Speed
風の方向とスピードが異なる外部空間
風の強弱や方向を内部空間によって
手前より段階的に変えることで、
多様な風を取り入れることができる。

LIVING DINING KITCHEN PUBLIC SPACE

Lower Keeping Privacy
縦のバーによって、視線が限定され、
路地からの視線の侵入を少なくし、かつ
雨の日の風を防ぐ。

Public Open Space
建物のバルコニーとしての
主要公共空間はイベント時には舞台化
日常では緑地や後援に利用される。

Connection to Alley
三角形のバルコニーによって、
路地から直接アクセスし、こまご
ま路地の空間へ接続する。

1F Plan S=1/100

Fasade in Bangkok

バンコクの住宅のファサードには、多様な色と柄が用いられ、個人のアイデンティティを表現している。

FREE MATERIALS
フレームによって風の流れが決まるため、ファサード、開口切り等自由に実装が可能である。

WOOD
構造フレーム内の開口切り、雨は板を木目とし、1階部分の柱を黒い面に開放的な設計とする。

RC
バンコクの強い日光、雨等の雨や金網に対する耐え力と、金網から見た建物デザインとして用いる。

3階には内部のプログラムの流れを表現するようファサードが分割される。前庭階で1階すべてのファサードは均一である。風路線と窓の配置によって表現しつつ、住民ごとに自由に実装が可能である。

North Elevation S=1/200

3F Plan S=1/200

3階には2階と同様に居室が入る風下に対して対角線形で部屋が並ぶことにより、3階においても十分な風を受けることができる。また部屋の開口切りをルーバー状にすることで、風をコントロール可能となっている。

2F Plan S=1/200

2階には居室とキッチン、水廻りが入り、1階の開放的な性格に対して落ち着いた空間となる。また3階・1階より実装できるときは、廊下を縦断している風路線が可視化されている。アイデンティティを確保している。

バンコクの夏季の卓越風である南からの風によってシミュレーションを行った。風速は1日の80%程度快適な風が流れるよう、平均風速の3.39m/sではなく2.0m/sを設定した。

